

# JCAA NEWS

臨床美術

JAPAN CLINICAL ART ASSOCIATION

Vol.  
63  
2022  
WINTER

## 登録団体紹介

定期総会報告

協会からのお知らせ

指定校・芸術造形研究所からのお知らせ

アートプログラム紹介

巻頭インタビュー

# 臨床美術の力で 世界中を幸せに

大久保伸一（芸術造形研究所代表取締役社長）

アートプログラム  
「彩りうさぎ」

# 巻頭 INTERVIEW

長引くコロナ禍、ウクライナ危機、世界的なインフレ…  
閉塞感漂うこの時代に、臨床美術ができること、  
そして臨床美術士が果たす役割について芸術造形研究所  
代表取締役社長 大久保伸一氏に語っていただきました。

株式会社芸術造形研究所  
代表取締役社長

日本臨床美術協会／臨床美術学会 理事  
凸版印刷株式会社 代表取締役副社長執行役員

## 大久保伸一



### いま、臨床美術は必要とされている

昨今、いたるところで「SDGs」という言葉が聞かれるように、世界全体で持続可能な社会を形成しようという流れになっています。その先には、我々人間がただ単に健康で長生きするだけでなく、「幸せに生きる」＝「Well-being」ということが非常に大事になってくると思います。「幸せ」というのは、自分自身の存在が認められ、やりがいや生きがいを持って、自分自身の存在価値を感じて生きることではないでしょうか。

例えば認知症になったりメンタルに不調をきたしたりすると、自己肯定する力が弱まることがあります。それをフォローするコンテンツは意外とないんですね。いま我々人類が目指すべきWell-beingの世界に対してコンテンツを提供できる数少ない機関として芸術造形研究所があり、臨床美術があると思います。

臨床美術を体験すると自己肯定感が高ま

り、それによって他者をも認められるようになりますね。互いを認め合う経験を通じてコミュニケーション力が上がり、積極的に物事にチャレンジすることができるようになる。そうした効果を実感し、凸版印刷でも社員向けに臨床美術のワークショップ「アートサロン」を取り入れています。実際に、以前は会社に来ることができなかった社員がアートサロンに継続して参加することで元気に働けるようになった、という事例も聞いています。「元気になりましょう」「頑張りましょう」と言葉で言っているだけでは人は元氣になれません。そんな時、臨床美術を用いれば自ずと前向きに、しかも幸せの境地になれるのです。まさに「Well-being」ですね。

臨床美術の根底には、「人に喜んでほしい」「笑顔になってほしい」という利他の精神があって、臨床美術士の皆さんもそうした気持ちを持って活動されているのではないのでしょうか。その利他の精神こそが、いま世の中に必要とされています。臨床美術を広めている皆さんは、いま閉塞

しきっている世界の、もっと大きく言えば地球上の「人類を救う唯一の手段」を持っていて、これからそれをどんどん開放してみんなに味わってもらって、世界中の人に幸せになってもらいたいと思っています。

### 臨床美術士自身が幸せであること

幸せな人を増やすために臨床美術を普及していくわけですが、それを担う臨床美術士自身も「Well-being」であってほしいと思います。臨床美術士にとって大事なことは、「いかに人に幸せになってもらうか。そのためにはいかに自分も幸せで、それを他の人と分かち合うか」ということではないでしょうか。

いま、新型コロナウイルスやウクライナ危機、インフレなど世界中が大変な状況にあり、誰もがうつむきがちです。そんな状況をむしろ明るい方へ導いていくのが臨床美術士の役割だと思います。皆さんには、臨床美術の楽しさややりがい、意義をご自身で感じ、それを周りに伝播して行ってほし

これまで制作した  
臨床美術作品の一部。  
オフィスに飾って  
楽しんでいるそう。



「感謝の気持ちのブチ屏風」※未発売



「描き初め」(篆書体で「無為」を描いた作品)

「いろいろな線と色で遊ぼう」



「親子アートサロン」(凸版印刷)でお孫さんと火炎土器を制作。「子どもの思わぬ発想に驚かされた」と大久保氏。

## 臨床美術の力で世界中を幸せに

いですね。臨床美術を実施できる力(資格)を持っているのは有力な武器になるし、重要な役割を担っているので、ぜひ自信をもって元気に活動していただきたいです。その中で困ったことがあれば仲間とコミュニケーションをとって助け合い、また芸術造形研究所や日本臨床美術協会も皆さんをサポートしていきたいと思っています。

### 臨床美術の未来

経済産業省をはじめ、いま、アート之力を使って新しいものを作っていこうという動きがあります。アート思考というのは無から有を作り出すので、イノベーションに近い。これから先、人類が行き詰まった時に、新しいものを生み出して乗り越えていくためにはアート思考が非常に大事だと感じています。

私は様々な企業のトップに会いますが、

臨床美術の話をするすると皆さん大変興味を持ってくれますし、実際に体験してもらっています。企業もそうですし、高齢者施設なども、体験すれば「ぜひ導入したい」と言っていただけなので、なるべく多くの方に、体で、五感で感じてもらう機会を増やすことが重要だと思っています。そのためには皆さんの力が必要です。ぜひ仲間を増やして臨床美術の輪を広げていっていただきたいですね。

また、日本国内だけでなく、多言語翻訳システムを使って、同時に多国籍の人たちに体験してもらう実験を進めています。

臨床美術は鉛筆一本、紙一枚あればできるので、世界中どこでもできます。小さいお子さんからお年寄りまでどの年代にも通用するし、人種も、性別も、障がいがあってもなくても関係ない。非常にバランスが取れていて幅広い対象に対応できる、力の

あるコンテンツです。大きく言えば「臨床美術が世界を救う」。これだけ人類が疲弊している中であって、臨床美術がそこを突破していく一つの鍵になると思っています。

これまでは対面でのセッションが中心でしたが、今ではZoomやその他新しいツールを駆使しながらリモートで行うことが多くなっています。臨床美術士の皆さんにはぜひ色々なことにチャレンジしてほしいですね。芸術造形研究所も日本臨床美術協会も、皆さんと一緒に考え、一緒に走っていきたいと思います。力を合わせて世界中の人たちを幸せにしていきたいと思います。



北海道



## 臨床美術「ほっかいどう」

臨床美術「ほっかいどう」は、臨床美術士の交流、連携、スキルアップを目的に2013年9月設立しました。北海道の臨床美術士の80%以上が所属または関りを持っているのが特徴です。来年、団体設立10周年を迎えるにあたり、函館、札幌、旭川、(帯広)、北見などを回る「北海道横断巡回作品展&ワークショップ(仮)」を企画しています。毎年総会を開催し、会員の活動状況、団体の事業報告、会計報告、役員を選出等を行っております。会員は、グループメールに加入し、必要に応じて団体事務局から情報を受け取れるようになっています。プログラム勉強会、外部講師を招いての研修会、交流会、作品展や講演会への参加、ワークショップのメイン、又はサブの呼び掛け等を行っております。今後も、臨床美術士の活動の維持、相互の親睦を図ってまいります。

### <今後の予定>

- プログラム勉強会「とうがらしを描く」(オンライン) 2022年11月27日(日) 13:30~15:00
- 新年会交流会及び例会(オンライン) 2023年1月28日(土) 12:00~
- オリジナルプログラム研修会(対面&オンライン) 2023年3月4日(土) 13:30~15:00

埼玉



## 臨床美術 彩球

私たちは2012年4月に登録団体の認定を受け、メンバー17名から始まり、埼玉県を中心に関東圏で活動しています。10年を迎えた今、メンバーは41名となり、それぞれのペースで関わり、月1回の定例会と勉強会、「アトリエ彩球」でのアート塾、地域のイベントへの参加など、いろいろな場で臨床美術を実施する機会をいただいています。そしてアート塾や各メンバーの現場作品を持ち寄っての作品展や、仲間の現場のサブ、サポートに入ったりしています。個々の活動、団体での活動を、それぞれ地道に少しずつ歩みを進め、共に臨床美術の普及を楽しんでいます。今年の秋には、地域のイベント参加と作品展を予定しています。良かったら遊びにいらしてください♪

### <今後の予定>

- 「桜エコフェスタめぐりめぐるWA市」  
2022年11月13日(日) 10:00~14:00
- 「13回臨床美術 彩球 作品展」  
2022年11月28日(月)~12月4日(日) 10:00~17:00

## 全国で!各地域で! 登録団体紹介

つながろう!

コロナ禍でなかなか活動できない中、臨床美術士同士がつながるきっかけとして登録団体からのメッセージをご紹介します。

富山



## とやま臨床美術の会

「とやま臨床美術の会」は登録団体の認定を受け10年になりました。15名でスタートした会は、現在62名が所属しています。「とやま臨床美術展」の開催と年3回の試作会、この活動をオンラインも取り入れながら地道に丁寧に行っています。今年9月には第10回目の「とやま臨床美術展」を開催しました。コロナ禍、感染防止対策のために参加者の皆さんとの物理的な距離はどんどん遠くなりましたが、その様な状況だからこそ臨床美術のケアの力を私達は信じたいと思っています。はじめて臨床美術に出会った時、心を揺さぶられたあの経験があるからです。まだこの状況は続きそうですが、あの時始まった一人ひとりの<ものがたり>は、仲間を得て、現場の皆さんと出会い、経験を重ねながら今に繋がっています。とやま臨床美術の会は、その<ものがたり>を結ぶ場として、これからも在りたいと思っています。

### <今後の予定>

- 令和4年度第2回試作会「線刻画の絵皿(カレイの干物)」(対面&オンライン) 2022年11月16日(水) 19:00~

長野



## SUWART

長野県諏訪市のSUWART(スワート)です。諏訪市では2002年に地域福祉計画「芸術と福祉のまちづくり」に臨床美術が導入されました。それを機に臨床美術士の資格を取得した諏訪市民が、高齢者対象の教室や高齢者施設でのアクティビティスタッフとして活動をスタートし、市内での講座を行うとともに近隣地域での出前講座へと活動範囲を広げてまいりました。2018年度から諏訪市の事業計画変更によって団体独自で活動することとなりましたが、一過性で終わることなく長期的な視野に立ち活動を行っております。現在コロナ禍で介護施設等の講座は中止となっておりますが、下記講座を実施しております。

「継続は力なり!」の私たちの講座に是非お立ち寄り下さい。そこからSUWARTの羽が広がり、私たち臨床美術士の翼がより羽ばたきますようにと願っております。

### <今後の予定>

- 諏訪市公民館 第一月曜 午前・午後
- 豊田公民館 第二月曜 午後
- いきいき元気館 第四火曜 午前



2017年ADI国際会議 in 京都での最終日スタッフ

## 京都<臨床美術>をすすめるネットワーク

2006年、京都での臨床美術の普及のために「京都<臨床美術>をすすめる会」を発足し、講演会や京都府立医科大学神経内科での認知症の方と家族の講座、京都桂川園での障害のある方への講座などを実施してきました。2017年に会は解消して現在のネットワークになり、今は継続現場のサポートと年数回の例会を開催しています。メンバーは各講座責任者と事務局のみで会員のいない組織です。その都度の情報発信に対して個人が参加する形です。コロナ禍で現場の多くは休止状態ですが、現場経験を積みたい方には動いている講座への臨時スタッフとして参加して講座に慣れることができます。例会はリモートセッションの研鑽の機会として、メインやサブの希望者を募り行っています。経験豊かな仲間も沢山いるので、ぜひ繋がってください。

### <今後の予定>

- 例会(オンライン) 2023年1月15日(日)
- 京都シニア大学講座 2023年1月19日(木)・2月16日(木)(補助スタッフ募集中)



## 臨床美術会 in OSAKA

「臨床美術会 in OSAKA」は、2012年9月に登録団体として認定されました。当初は地域でワークショップを開催し、市のイベント等にも参加。臨床美術の草の根運動が中心の活動でした。現在は、施設でのセッションや実演講演が多くなる中で、年2回の講座を開催し、オンラインの苦手な一般の方を中心に資格者も参加しての実施です。写真は当会会員が担当する講座風景です。当会では、メインや施設活動の担当者を当会所属の会員の中から選任しています。特に施設活動は、対価が発生する仕事のため、熟練会員が担当し、練習の場としての提供はしておりません。

10年を節目に「大阪の会」は、普及活動のみならず資格を活かすための研鑽に力を注ぎ、資格者の就活を支援する「プロの会」として一歩踏み出しました。ご縁ある出会いを大切にしたい!!

### <今後の予定>

- 交流会を兼ねた1day講座2022年【冬】2022年12月9日(金)開催予定。 ※コロナ禍の為、先着8名

各団体の連絡先およびイベント情報は、日本臨床美術協会ホームページより、各団体のホームページをご参照ください。

⇒ <http://www.arttherapy.gr.jp/member/organization/organization-info/>

※登録団体は全国で14団体あります。上記にて全団体の連絡先を掲載しておりますのでぜひご覧ください。



## おたふくの会

「おたふくの会」は、「練習する場所があればいいな」「皆で集まって意見を出し合って、スキルアップもできたらいいね」…そんな思いから始まり、現在まで月1回の練習会を続けています。コロナ禍では中止にした時もありましたが、Zoomを使って再開しました。今は奇数月をZoomで、偶数月を対面で大阪市内の会館を借りて行っています。大阪府内でイベントを立ち上げたいとの思いから、今年4月と10月には、練習会に参加している仲間で臨床美術展とワークショップを企画・開催しました。地域の方たちから「またやって欲しい」というお声もいただき、来年は4月に実施する予定です。

「笑顔が集まってたくさんの方が生まれますように…」願いを込めて「おたふくの会」と名付けました。私たちと一緒に練習会でスキルを上げ、イベントを作っていきませんか?いつでも皆様のご参加お待ちしております。

### <今後の予定>

- 臨床美術の作品展とワークショップ@藤井寺市南岡会館 2023年4月開催予定



## クリニカルアート 鳥ト雲(とりとくも)

鳥取県と島根県出雲地方までに住む臨床美術士26名の団体です。『鳥ト雲(とりとくも)』には、鳥取の「鳥」、出雲の「雲」、人という漢字にも見える「ト」はアートで人と人をつなぐという意味が込められています。団体立ち上げと同時にコロナ禍へ突入という厳しい状況の中でしたが、自分達にできる形を日々模索し、挑戦しながら活動を続けています。活動としては、会員同士個々の現場の支え合い・交流の場づくり、毎年3回会員のご自宅に画材を発送し、オンラインを通じてプログラム体験会を開催(同時にメインとサブの練習会の場にもなります)、またカメラ講座や講演会など、自己研鑽やスキルアップにつながる講座を開催しています。主に会員同士がつながり合う場でもありますが、オンライン講座の際にはご家族の参加もあり、それぞれが日々の中でアートを楽しむきっかけとなっています。

### <今後の予定>

- 「クリニカルアート鳥ト雲会員交流会」@ホームデコ米子店 (対面&オンライン) 2022年12月4日(日) 10:00-12:00

# 2022年度 定期総会報告

5月29日に2022年度定期総会を開催いたしました。5月29日時点において議決権総数は2099名で、本人出席73名、委任状による出席686名の合計759名で、定款28条に定める定足数3分の1以上を満たしたため、総会が成立したことをご報告いたします。

## 2021年度 事業報告

### ● 会員状況

	2020年度	2021年度	差異
資格認定会員	2384名	2364名	-20名
5級	737名	743名	6名
4級	1380名	1363名	-17名
3級	229名	217名	-12名
2級	24名	26名	2名
1級	14名	15名	1名
団体賛助会員	9団体	8団体	-1団体
指定校	5団体	5団体	0団体
認定施設	4施設	3施設	-1施設

### ● 認定施設・登録団体・指定校・アートサポーター・アート塾講師状況

	2020年度	2021年度	差異
	実績	実績	実績
認定施設	4施設	3施設	-1施設
登録団体	16団体	13団体	-3団体
指定校	5校	5校	0校
アートサポーター(累計)	380名	380名	0名
アート塾講師(累計)	54名	54名	0名

### 1) 臨床美術の普及

- 登録団体と協力し、各地で地域別交流会を開催
- 他資格との連携として、作業療法士協会へアプローチ
- 職業別の交流会を開催するなどアプローチを継続していく
- 臨床美術学会大会をオンライン形式で開催
- 会報誌発送時に活動施設募集のチラシを同封。認知、登録申請の促進を行った。

### 2) 臨床美術士への支援

- オンラインでの地域別交流会など会員同士が情報交換や気軽におしゃべりができる場を提供
- オンラインに苦手意識を持つ会員向け、「ZOOM入門」の紙資料を作成(JCAAに掲載)
- コロナ禍での臨床美術の実施に向けてのガイドライン「感染症予防対策をふまえた臨床美術の実施について」を改訂し、再配信。ホームページに掲載
- 会員のニーズを把握すべく、アンケートを実施。集計結果はJCAAに同封、及びホームページに掲載。内容を受け事業運営に反映していく。

### 3) 臨床美術士の質の維持

- ZOOMへの接続体験研修会(無料)を開催
- 臨床美術学会大会、勉強会、特別講演会などの学会情報を配信
- 新規講座の企画、開催

### ● 定款変更について

#### <文言の追記>

- 第1章 総則  
(名称)  
第1条 この法人は、特定非営利活動法人日本臨床美術協会(Japan Clinical Art association)という。  
(事務所)  
第2条 この法人は、本部を東京都千代田区神田駿河台2丁目1番 OCCビルに置く。

#### <新規条文の追加>

- 第4章 役員および職員  
(選任等)  
第15条 5本協会には若干名の顧問を置くことができる。顧問は、理事会の推薦によって理事長がこれを委嘱する。  
(職務)  
第16条 6顧問は、理事長の諮問に応じ、会議に出席して意見を述べることができる。

#### 第7章 常任理事会

- (表決権等)  
第46条 常任理事会構成員の表決権は平等なものとする。  
2やむを得ない理由のため常任理事会に出席できない常任理事会構成員は、あらかじめ通知された事項について書面もしくは電磁的方法をもって表決することができる。又は他の常任理事会構成員を代理人として表決を委任することができる。  
3前項の規定により表決した常任理事会構成員は、第45条及び第47条の規定の適用については常任理事会に出席したものとみなす。  
4常任理事会の議決について、特別の利害関係を有する常任理事会構成員は、その議事の議決に加わることができない。

#### <条文内容の変更>

- 第5章 総会  
(定足数)  
第28条 総会は、社員総数の4分の1以上の出席がなければ開会することはできない。  
第6章 理事会  
(議決)  
第37条 2理事会は委任状を含め理事2分の1以上の出席をもって成立し、議決は出席理事の過半数を持ってなされる。可否同数のときは、議長が決するところによる。

※東京都からの指導により、総会報告時と一部内容が変更になっています。

## 2022年度 事業計画

### ● 中期事業計画として

- 地域ネットワークを構築し、地域に密着した「臨床美術の拠点」を創出。各地域で臨床美術士が主体となって普及活動を行うことができるよう、その為に必要な支援を会員と共に検討、構築していく。
- 法人、教育機関、企業等での体験会・説明会の開催
- 他資格との連携による新たな現場での臨床美術普及の促進

合わせて、臨床美術の普及、臨床美術士への支援、臨床美術士の質の維持については、前年に続き、継続して行っていく。

## 2021年度 決算

科目	2021年度予算	2021年度決算	差異
経常収益計	37,452,770	35,013,564	-2,439,206
経常費用計	36,301,670	34,710,509	-1,591,161
当期経常増減額	1,151,100	303,055	-848,045

## 2022年度 予算

科目	2021年度決算	2022年度予算	差異
経常収益計	35,013,564	37,437,600	2,424,036
経常費用計	34,710,509	36,692,000	1,981,491
当期経常増減額	303,055	745,600	442,545

## 協会からのお知らせ

New! /

### Instagram開設しました!

日本臨床美術協会と芸術造形研究所が共同でInstagramを開設しました。作品画像など投稿していきますので、ぜひフォローしてください。

<https://www.instagram.com/rinshoubijutsu/>



### 2023年度 年会費についてのご案内

2023年度の年会費について、以下をご確認の上、お支払いをお願い致します。

●年会費 11,000円 (消費税込み)

●納入方法について

「口座自動引落し」の手続きがお済みの方

2023年2月28日(火)に指定口座より引落し致しますので、事前にご指定口座の残高をご確認をお願い致します。

「口座自動引落し」以外の方

2023年2月28日(火)までに「コンビニエンスストア専用支払伝票」にて、店頭レジにてお支払いください。

※支払伝票は、同封しております。

「口座自動引落し」を中止される方

2023年2月3日(金)までに協会事務局に、メールもしくはFAXにてご連絡をお願い致します。

●連絡先

日本臨床美術協会 事務局 (受付時間 9:30~18:00)

E-mail: [association@arttherapy.gr.jp](mailto:association@arttherapy.gr.jp)

FAX: 050-3737-9007

※2023年度の新会員証は2023年4月上旬頃にお送り致します。

### 資格更新期間延長の継続措置について

一昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、外出や近距離での対話なども制限される状況が続いており、臨床美術の実施についても自粛を余儀なくされていることと、思います。コロナ禍で十分な活動ができないという多くのご相談も頂いております。このため2020年度・2021年度は、資格更新申請期間を1年間延長いたしました。この措置を継続し、2022年度も1年間資格更新申請期間を延長することといたしました。

合わせて、日本臨床美術協会では、オンラインでの交流会や研修会などを開催し、コロナ禍でも臨床美術士同士が気軽に話したり、情報交換ができるコミュニケーションの場づくりを大事にし、つながる機会をさらに増やしていきたいと考えています。また、臨床美術学会の勉強会や特別講演会なども予定されていますので、臨床美術士としての力を蓄え、研鑽していただければと思います。

【対象】 2022年度資格認定会員全員

【内容】 資格更新期間を1年間延長

(例) 資格更新期間: 2023年4月15日→2024年4月15日

(例) 資格更新期間: 2026年8月15日→2027年8月15日

【資格更新日確認方法】

- 2023年度会員証に資格更新日を記載いたしますので、ご確認ください。
- 既に2022年4月以降の資格更新申請書等をご提出頂いている場合は、協会事務局で保管させて頂きます。1年間延長した資格更新日となりましたら、更新完了通知書と共に会員証を送付させて頂きます。また、資格更新申請書をご郵送して頂いた翌日以降に取得した単位は次回更新分の単位となります。

### ご自宅で特別講座<オンライン講座>

臨床美術士の基礎知識を深め、さらに、実践の場を広げる為のスキルアップを目指した講座を開講しております。詳細はホームページより各講座の案内をご確認ください。ご受講をお待ちしています!!

●2022年度 研修会・講座スケジュール

講座名	日程	申込締切日
<開業支援講座>一瞬で相手のココロを<<つかむ>>話のつくり方	2023年 1月29日(日) 10:00~12:00	2023年 1月19日(木)
これだけは知っておこう 個人情報・肖像権	2023年 1月22日(日) 10:30~11:40	2023年 1月12日(木)
保育園での臨床美術	2023年 1月29日(日) 14:00~15:30	2023年 1月19日(木)
<五感研修会>「東洋医学」自律神経を整えて快適に美しく	2023年 2月12日(日) 10:30~12:00	2023年 1月19日(木)
臨床美術の放課後等デイサービスへの導入に向けて	2023年 1月22日(日) 14:00~15:10	2023年 1月12日(木)
臨床美術で子どもが変わった	2022年12月11日(日) 10:30~11:40 2023年 3月26日(日) 10:30~11:40	2022年12月 1日(木) 2023年 3月16日(木)
「カウンセリング講座」自分自身をじっくり見つめてみよう ~自分の心のケアを忘れずに~	2022年12月21日(水) 20:00~21:10 2023年 1月18日(水) 20:00~21:10 2023年 2月22日(水) 20:00~21:10	2022年12月12日(月) 2023年 1月 9日(月) 2023年 2月13日(月)
フィンランドとの交流から見た臨床美術の広がり-過去・現在・未来-	2022年12月11日(日) 14:00~15:10	2022年12月 1日(木)
障がい者とアート活動について -臨床美術の可能性-	2023年 2月 5日(日) 14:00~15:30	2023年 1月26日(木)
若年性認知症における臨床美術	2023年 3月19日(日) 14:00~15:30	2023年 3月 9日(木)

【お申し込み方法】

主催: 日本臨床美術協会

下記、URLまたはQRコードからアクセスし、お申込みフォームをご入力いただき送信してください。

<お申込みフォーム>

<https://forms.gle/CWZNxWDXFFsdyW4x6>



## 指定校からのお知らせ

東北福祉大学 地域創生推進センター 地域創生推進室 仙台元気塾

### ●研修会

講座名	対象	日程	申込締切日
オイルバステルアートプログラム研修会 No.7-12	5級取得以上	2022年12月11日(日) 10:00~12:00	11月30日(水)
オイルバステルプログラム研修会-26-柿の量感画	4級取得以上	2022年12月11日(日) 13:30~15:30	11月30日(水)
最新アートプログラム研修会-42-クロシロシロクロ函	4級取得以上	2023年 2月 5日(日) 13:30~15:30	1月25日(水)

【申込窓口】東北福祉大学 地域創生推進センター 地域創生推進室 仙台元気塾 TEL: 022-742-2886

※各地の最新の研修会情報は芸術造形研究所のホームページでもご確認ください

## 芸術造形研究所からのお知らせ

### ●臨床美術士養成講座

	講座名	期間	会場	申込締切日
通学	5級 2022年短期集中 冬季特別クラス	全5日間	会場: 東京	11月17日(木)
	5級 2023年1月期 水曜日クラス or 土曜日クラス	全6日間	会場: 東京	1月11日(水)
	4級 2023年1月期 水曜日クラス or 土曜日クラス	全9日間	会場: 東京	12月22日(木)
	4級 2023年短期集中 春季特別クラス	全7日間	会場: 東京	2月 9日(木)
通信	5級 2022年12月期 12/9・10スクーリング(オンライン)	2日間+5カ月	Zoom開催	11月17日(木)
	5級 2023年1月期 1/7スクーリング(対面)	1日間+5カ月	会場: 東京	12月15日(木)
	5級 2023年2月期 2/10・11スクーリング(オンライン)	2日間+5カ月	Zoom開催	1月19日(木)
	4級 2023年3月期 3/17・18スクーリング(対面)	2日間+6カ月	会場: 東京	2月22日(水)
オンライン	5級 2023年2月期 金曜日クラス 日曜日クラス	各全6日間	Zoom開催	1月19日(木)
	4級 2023年2月期 木曜日クラス 土曜日クラス	各全9日間	Zoom開催	1月12日(木)

※東京校では上記講座の他、感性アートゼミ(通学・オンライン・通信)ほか各種講座、研修会も開講しています。

詳しくは芸術造形研究所のホームページでご確認いただくか、担当までお問合せください。

### 【申込窓口】芸術造形研究所

●通学講座・オンライン講座 TEL: 03-5282-0210 E-mail: school@zoukei.co.jp

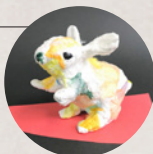
●通信教育 TEL: 050-6865-3702 E-mail: tsushin@zoukei.co.jp

※予定されている講座につきましては、中止または変更になる場合があります。予めご了承ください。

BESTシリーズに新たに加わった、  
新年にぴったりのアートプログラムを  
ご紹介します!

### BESTシリーズ 立体【C-27】 「彩りうさぎ」

完成作品サイズ(長さ×幅×高さ):  
約15cm×15cm×15cm程度



芯に粘土と和紙の組み合わせで形と色を施します。粘土の柔らかさと和紙の暖かさにより、うさぎの愛くるしさが表現される作品です。干支に限らず1年中楽しめますね。

年末年始アートプログラム  
販売キャンペーン中!!

12月26日(月)  
まで

詳細はこちらから

<http://www.zoukei.co.jp/news/2022/221007.php>

### <編集後記>

今号から紙面をリニューアルしました。新たな装いのJCAA NEWSはいかがだったでしょうか。リニューアルと言えば、自分自身も引越をして生活が新しくなりました。今年も残りわずか。年内に荷物を片付けてスッキリと2023年を迎えたいです。/広報 男澤



事務局の野口です。湘南で、夫と子ども2人+ミニチュアダックスフンド1匹と暮らしています。入局して1年目ですが、これまでの経験を生かして会員様の活動をバックアップしていきたいと思います。よろしくお願いたします! /事務局 野口



コロナ禍で地域の臨床美術士のネットワーク作りが難しいという声を聞き、今号では登録団体のご紹介をすることになりました。思うように活動できない状況ですが、各団体から様々なエピソードが寄せられ私も元気をもらいました。皆で乗り切っていきたい!! /事務局長 青木



### 臨床美術JCAA ニュース第63号

2022年10月25日発行

発行/特定非営利活動法人 日本臨床美術協会



特定非営利活動法人

日本臨床美術協会

【事務局】〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9-3

ShonanEminence 3階

TEL: 050-6865-3701 FAX: 050-3737-9007

※本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載および複写を禁じます。